

学校だより
第52号

報徳

R 4.1.28

校長 松下 公博

冷静な対応に感謝申し上げます

感染が拡大しています

コロナウイルスが猛威を振るっています。始業式の週は何事もなく過ぎたのですが、先週になって体調がすぐれない児童の報告があり、今週にかけて5学級の閉鎖を行う事態となりました。インフルエンザの流行の際

は、一学級に多数の罹患者が出た場合学級閉鎖の判断をしますが、今回は保健所による濃厚接触者の特定のた

め学校での感染が疑われる場合は、陽性者が一人出ても学級閉鎖をすることとなっています。学校での様子や、感染者の人数などを調査し、場合によっては、全員の検査を行うこともあります。報道されているように、これまでのウイルスに比べて、子どもに感染しやす

く、また感染力もかなり高く、学校では対策をして予防してきましたが、今回複数の感染者が出る事態となりました。今後はこれまでに感染予防に努めてまいりたいと思えます。また、今回短期間に次々と起こる状況への対応に追われ、保護者の皆様には十分な情報をお伝えすることが出来ず、ご心配をおかけしましたことお詫び申し上げます。今後は学級閉鎖の状況について、学級数を随時お伝

えしていきます。学級名や感染者数につきましては感染者の特定につながる恐れがあるためお伝え出来ないことをご理解ください。このような状況下におきましても、保護者の皆様には、冷静に対応していただいておりますことに感謝申し上げます。ご家庭におかれましても、十分に予防に努めていただきませうようお願い申し上げます。

た後、27日付で教育委員会より、「臨時休業の判断について」が出され、これまでと対応が変更されることになりました。皆様へ報徳メールと紙面でお伝えしております。これまでと違う点は、次の2点です。

- ### 臨時休業の判断の変更
- 上の記事を書きました。これらの措置は、症状が比較的軽いことや、感染者の急増により保健所の業務が逼迫していることによるものです。学校では、今後この指針に従って対応してまいります。お子様が濃厚接触者となる可能性がある場合や、PCR検査を受けることになった場合は、登校を控えていただき、直ぐに学校まで連絡をお願いします。また、お子様が誰と一緒に登下校をしているかの把握をしておいてください。ご協力をよろしくお願
- ①学級に陽性者が一人出ても、直ぐには学級閉鎖は行わず、他の児童の様子を調査して判断する。
 - ②接触者に対しての学校でのPCR等の検査は行わない。